

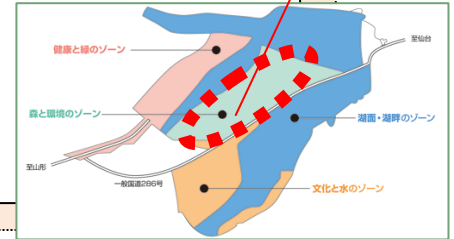
みちのく森の楽校だより 9月号



みちのく公園「里山地区」とは？

みちのく公園「里山地区」は、仙台市の水瓶である釜房湖に面した里山です。ここにはかつて薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡もみられます。

みちのく公園では、この「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。



9月24日(土) 晴れ ドングリの苗づくり！

今年の9月は台風の影響か、雨ばかり…。やまない雨はないというけれど、今日はやっと晴れました！そこで今日は、初秋の里山を楽しみました。栗やドングリを拾って、栗ご飯の飯盒炊飯、ドングリのコマづくり、ドングリの苗づくり。栗もドングリも、今年は去年より少ないようです。

栗拾い



栗

秋になりましたね。今日のお昼は秋の味覚、栗ご飯と芋煮！

栗拾いをして、飯盒で栗ご飯を作りました。栗の皮むきや野菜の下ごしらえも、みんなでやりましたよ！

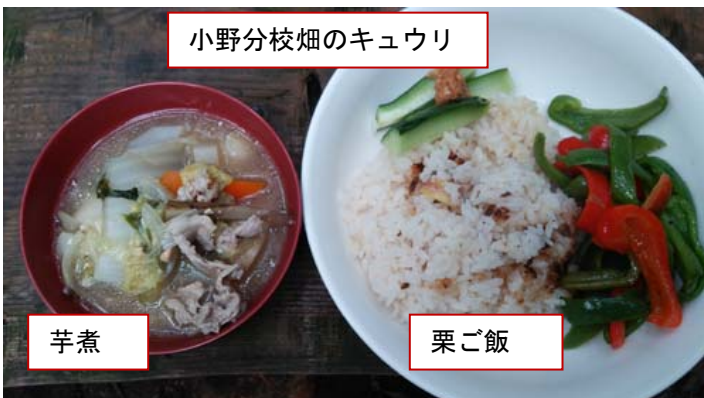
薪割りと火起こし

飯盒炊飯をするためには、火が必要。今日は、薪割り、粗朶作り、火起こしもしました。

薪割りは狙いを定めて、斧を真下に振り下ろします。それを細かく割って粗朶にします。ふんわり丸めた新聞紙、杉の葉、粗朶を井桁に積んで火を付けました。



小野分枝畑のキュウリ



芋煮

栗ご飯



ドンダリのコマづくり

ドンダリを使った遊び道具づくりとして、コマを作りました。

ドンダリのおしりに錐（きり）で穴を開けます。次につまようじを穴に突き刺します。この時、爪楊枝が頭から出た方がよいのか、突き出さないのが良いのかいろいろためしてみました。楊枝の長さも調整します。うまく回るかな？



ドンダリ



ドンダリのコマ



ドンダリの苗づくり！

かつての里山では、薪や下草が採取されて、明るく若い林が維持されてきました。薪や下草は燃料として、暮らしの中で毎日使われていたのです。

伐採した切り株からは「ひこばえ」が生え、新しい若い幹が再生していました。里山の林を新しい林に再生させるために木を伐採することを「皆伐更新」といいます。

里山地区の「ゴヨの森」ではこの「皆伐更新」を行って、昔ながらの里山管理をしています。現在では薪や下草を使うことがなくなったことから、木が大きくなりすぎてしまい、木を切っても「ひこばえ」が育たなくなりました。

そこで、里山地区では4年前から、ドンダリの苗を育てて、里山に植え付ける「ドンダリの里山」という活動をしています。これまでに2回の植え付けをしました。

秋になってドンダリが落ちてきたので、これを拾って苗を育てます。

牛乳パックに土を入れ、拾ったドンダリを植え付けます。牛乳パックは植木鉢の代わりです。丈が長いので、根がよく伸びるのです。

ドンダリの成長には光と水が必要です。明るい所において、水やりをしながら、2年間育てて、「ゴヨの森」の斜面に植え付けるのです。



ドンダリ拾い



1年目のドンダリの苗



苗の植え付け(去年)

次回、第7回「森の楽校」は10月22日（土）、ドンダリ苗植え付けの準備をします。